●実務経験のある教員等による授業科目

音楽アーティスト科

ヴォーカルコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有 無の別	実務経験授業 の時数
	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	45	45	必修	講義	0	90
	デビュー・就職実務 I	72		必修	講義		_
全	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		-
科	著作権		25	必修	講義		-
共 通	PC実習	54		必修	講義		-
科目	選択授業	34	34	必修	講義		_
	異文化研究	20	20	必修	講義		-
	イベント制作実習A	151	153	必修	実習	0	304
	イベント制作実習B	298	300	必修	実習	0	598
	ヴォイストレーニング I	38		必修	実技	0	38
	ヴォイストレーニング Ⅱ		38	必修	実技	0	38
	コーラスワーク	38	38	必修	実技	0	76
	ライヴパフォーマンス実習 I	30		必修	実習	0	30
	ライヴパフォーマンス実習 Ⅱ		34	必修	実習	0	34
	ソルフェージュ	17		必修	実技	0	17
	ヴォーカル実技 Ι	17		必修	実技	0	17
専	ヴォーカル実技Ⅱ		57	必修	実技	0	57
門 科	作曲実習I	34		必修	実習	0	34
目	ダンス基礎		30	必修	実技	0	30
	Pro Tools実習	38		必修	講義	0	38
	音楽理論	19		必修	講義		_
	ヴォーカルレコーディング		38	必修	実習	0	38
	作曲実習Ⅱ/キーボード実技		34	選択必修	実技	0	34
	作詞実習	19		必修	実習	0	19
							_
							_
合計	総授業時間数	924					
合計	総授業時間数		901				合計
	卒業時最少時間	18	25				1492

科目名	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ		トゼミ	実務授業の有無	0
担当講師	ショウ取(コーディナー)	ヰw(¬_≕ ノナ_ね_)		前期•後	期
担当研训	当講師 永島麻耶(コーディネーター)		必修•選択	必修	
対象学年	1・2 年		総授業時間	45	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	ζ

日々変化していく音楽・エンタテイメント分野に対し、実際に音楽・エンタテイメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師としてお呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 授業概要 到達目標は、音楽・エンタテイメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテイメントを理解することが出来るようになることである。

	授業計画
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション/特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション/特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし 授業形態/遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテイメント企業の講師である。 (2022年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、株式会社コレオグラフィー、 合同会社UNITY 等

科目名	デビュー・就職実務 I			実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期·後	期
担当研削			必修•選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	75	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	ζ

授業概要

通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、 メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。 また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率95.0%を目指す。後期対策授業は22コマを予定

授業計画 授業テーマ・授業内容・特記事項など 回数 動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について 社会人としてのルールの基本指導② 2 卒後やアルバイトで役に立つ労働法クイズ 第1編1章、メールについて① 3 第1編2章 ール発信のフィードバック、送付状の書き方① 第1編3章① 送付状の書き方フィードバック 5 就職につながるフジロック等アルバイト説明 第1編3章② 6 履歴書の書き方指導、前期期末試験(課題提出)について説明 7 特別講師による講義・レポート提出 第3編4章 8 特別講師による講義・レポート提出 社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導 就職年次生の活動状況からの進路指導 10 特別講師による講義・レポート提出 2級問題から社会人基礎能力指導① 名刺交換・保管など 特別講師による講義・レポート提出 2級問題から社会人基礎能力指導② 12 特別講師による講義・レポート提出 ジョブカードを使用した進路先確認① 特別講師による講義・レポート提出 ジョブカードを使用した進路先確認② 14 特別講師による講義・レポート提出 履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 15 特別講師による講義・レポート提出 後期期末試験(課題提出)について説明、進級時特待の案内 16 特別講師による講義・レポート提出 17 特別講師による講義・レポート提出 特別講師による講義・レポート提出 18 19 特別講師による講義・レポート提出 就活・顔診断セミナー、生活設計、模擬面接・指導 20

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	前期:課題レポート提出45%、期末課題(試験)提出35%、出席率20% 後期:課題レポート提出30%、期末課題(試験)提出30%、検定結果30%、出席率10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ			実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期·後	期
担当課則			必修·選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	55	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	ζ

就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、ブロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、 授業概要 企業コンプライアンスなどについて学習する。デビュー・就職の実現に向け随時個別ヒアリングと フォローを実施。

び来体を 正案コンプライアン人などについて学首する。アヒュー・肌臓の表現に同じ随時値別にアリンク フォローを実施。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。			
	授業計画		
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など		
1	アーティスト志望:【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し~計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。		
	就職志望: 1 【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し~計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。		
2	アーティスト志望:「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談		
	就職志望:「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談		
3	アーティスト志望:現状プロフィールシートの更新。確認と再作成		
	就職志望:履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)		
4	アーティスト志望:プロフィールシートの提出		
	就職志望.履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)と提出		
5	アーティスト志望: プロフィールシートの添削フィードバック		
	就職志望、履歴書・必要書類の添削フィードバック アーティスト志望:①【活動報告書】の作成と提出		
6	アーディスト志宝: ①[活動報告書]の作成と提出 就職志望: ①[活動報告書]の作成と提出		
	アーティスト志望:①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談		
7	就職志望:①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談		
	アーティスト志望:オーディション対策(自己PRの練習)		
8			
	アーティスト志望:個別面談・フィードバック		
9	就職志望:個別面談・フィードバック		
	アーティスト志望:【目標設定の見直し】目標設定の振り返り~再設定など		
10	就職志望:【目標設定の見直し】目標設定の振り返り~再設定など		
11	アーティスト志望:目標について個別ヒアリング面談(未決定者フォロー)		
11	就職志望:目標について個別ヒアリング面談(未決定者フォロー)		
12	アーティスト志望::②【活動報告書】の作成と提出		
	就職志望:②【活動報告書】の作成と提出		
13	アーティスト志望:②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談		
	就職志望:②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談		
14	アーティスト志望: 現状プロフィールシートの更新。確認と再作成		
	就職志望:②面接対策(自己PR、志望動機の練習)		
15	アーティスト志望:プロフィールシートの提出		
	就職志望:未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)		
16	アーブイスト志堂: ノロノイールシートの添削ノイートハック 就職志望: 未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)		
	「水吸心主: 木内に有しの川田郎・ノイートハック/ こンホヘマリー(内に有) アーティスト志望: オーディション対策(企業リサーチ、自己PR、具体的な内容を踏まえ個別指導)		
17	が職志望:未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)		
	アーティスト志望:オーディション対策(企業リサーチ、自己PR、具体的な内容を踏まえ個別指導)		
18	就職志望:未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー・生活設計シート作成(内定者)		
	アーティスト志望:オーディション対策(企業リサーチ、自己PR、具体的な内容を踏まえ個別指導)		
19	就職志望:未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー・生活設計シート作成(内定者)		

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30%
7久時日1	成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	なし

科目名	著作権			実務授業の有無	×
担当講師	梅田沙亚		講義実施時期	前期	
担当課師	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	梅川 洸平		必修	
対象学年	2 年		総授業時間	25	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	ζ

|音楽・エンタテイメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格 | |を目指す。

授業概要

自作PPとテキストを使用しすることで理解度アップ目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。

	授業計画		
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など		
1	動機付け、DVD視聴&解説		
2	X章・I 章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上		
3	Ⅱ章・Ⅲ章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上		
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上		
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上		
6	Ⅷ章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上		
7	模擬問題①②の実施及び解説		
8	模擬問題③④の実施及び解説		
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出		

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

科目名	PC実習			実務授業の有無	×
担当講師	日 垣		講義実施時期	前期・後	期
担当講師		必修•選択	必修		
対象学年	1 年		総授業時間	54	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	ζ

授業概要

社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。

	授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など			
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施			
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②			
3	模擬試験①~③			
4	模擬試験④~⑥			
5	模擬試験⑦、サンプル問題			
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施			
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②			
8	模擬試験①~③			
9	模擬試験④~⑥			
10	模擬試験⑦、サンプル問題			

教科書等	テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

科目名	選択授業		実務授業の有無	×	
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後	期
12 3 再则			必修•選択	必修	
対象学年	1•2 年		総授業時間	34	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	ζ

授業概要

本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅 広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。

	授業計画		
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など		
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる		
2	各科目による		
3	各科目による		
4	各科目による		
5	各科目による		
6	各科目による		
7	各科目による		
8	各科目による		
9	前期評価 各科目による		
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる		
11	各科目による		
12	各科目による		
13	各科目による		
14	各科目による		
15	各科目による		
16	各科目による		
17	各科目による		
18	各科目による		
19	後期評価 各科目による		

教科書等	※各科目による 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

科目名	異文化研究			実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期	
担当課則	平価 後明		必修•選択	必修	
対象学年	1•2	年	総授業時間	20	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	ζ

音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。 海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ 活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を 授業概要 身に付ける。

	授業計画
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	0	
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期	
担当碑即			必修•選択	必修	
対象学年	1 年		総授業時間	151	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	ζ

前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科 の専攻ごとに制作を行う。 授業概要

	授業計画		
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など		
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作		
2	各専攻ステージ制作		
3	各専攻ステージ制作		
4	各専攻ステージ制作		
5	各専攻ステージ制作		
6	各専攻ステージ制作		
7	各専攻ステージ制作		
8	各専攻ステージ制作		
9	各専攻ステージ制作		
10	各専攻ステージ制作		
11	各専攻ステージ制作		
12	各専攻ステージ制作		
13	各専攻ステージ制作		
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)		
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)		
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)		
17	フィードバック・反省会		

教科書等	なし 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

科目名	イベント制作実習B			実務授業の有無	0
担当講師	担当講師 永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期	
担当研训			必修•選択	必修	
対象学年	1 年		総授業時間	298	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	ζ.

後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 授業概要 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の 専攻ごとに制作を行う。

	授業計画
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

科目名	イベント制作実習A			実務授業の有無	0
担当講師	ショウザ(コーディナー)	7)	講義実施時期前期		
担当碑即	≸師 │ 永島麻耶(コーディネーター)		必修•選択	必修	
対象学年	2 年		総授業時間	153	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	ζ

前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科 の専攻ごとに制作を行う。 授業概要

	授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など				
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作				
2	各専攻ステージ制作				
3	各専攻ステージ制作				
4	各専攻ステージ制作				
5	各専攻ステージ制作				
6	各専攻ステージ制作				
7	各専攻ステージ制作				
8	各専攻ステージ制作				
9	各専攻ステージ制作				
10	各専攻ステージ制作				
11	各専攻ステージ制作				
12	各専攻ステージ制作				
13	各専攻ステージ制作				
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)				
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)				
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)				
17	フィードバック・反省会				

教科書等	なし 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

科目名	イベント制作実習B			実務授業の有無	0
担业幸品	担当講師 永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期	
担当課則			必修•選択	必修	
対象学年	2 年		総授業時間	300	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	ζ.

後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 授業概要 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の 専攻ごとに制作を行う。

	授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など					
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作					
2	各専攻ステージ制作					
3	各専攻ステージ制作					
4	各専攻ステージ制作					
5	各専攻ステージ制作					
6	各専攻ステージ制作					
7	各専攻ステージ制作					
8	各専攻ステージ制作					
9	各専攻ステージ制作					
10	各専攻ステージ制作					
11	各専攻ステージ制作					
12	各専攻ステージ制作					
13	各専攻ステージ制作					
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)					
15	各専攻ステージ制作					
16	各専攻ステージ制作					
17	各専攻ステージ制作					
18	各専攻ステージ制作					
19	各専攻ステージ制作					
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)					
21	各専攻ステージ制作					
22	各専攻ステージ制作					
23	各専攻ステージ制作					
24	各専攻ステージ制作					
25	各専攻ステージ制作					
26	各専攻ステージ制作					
27	各専攻ステージ制作					
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)					
29	各専攻ステージ制作					
30	各専攻ステージ制作					
31	各専攻ステージ制作					
32	各専攻ステージ制作					
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)					
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)					
35	各専攻ステージ制作					
36	各専攻ステージ制作					
37	各専攻ステージ制作					
38	各専攻ステージ制作					
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)					
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)					
41	各専攻ステージ制作(本番)					
42	フィードバック・反省会					

教科書等	なし 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

SH	HOW!	国際音楽・ダンス・エ	ンタテ	イメント専門等	実務授業の有無		
担当		延沢 汐美		講義実施時期 必修·選択	前期·後期 必修		
対象	学年	甘菜アーティスト科	年	総授業時間 対象コース	38 時間 全コース		
授業	概要	発声や歌唱に関する知識の機能と ストレッチや筋カトレーニングを通し ク向上、発声の性組みや呼吸に関し また、声の種類やそれぞれの提題! ともに、様々な音楽ジャンルや歴史!	基礎とした体作り、 での知識 合わせが	この土台作りを通して、) 発声練習を通した呼吸! 向上など、ヴォーカリス 「課題曲の歌唱を通して	■に対しての興味と関心を深くする 機能・発声機能・ヴォーカルテクニ・ トとしての知識力・基礎力の構築。 、自分自身の声と向き合うと		
					(1)11447 (1)1174		
数		投票子	授業計一マ・投資	·画 東内容・特記事項など			
0	O出席(自i O講師紹介	己紹介させる一名前・高校名・好きな 介(名前・高校名・お仕事についてなど の心構え(検抄に重要性・授業の進め) トレーニングの必要性	アーティス) 方・粉章・	ストやジャンル・目標・授 への姿勢)	業で身に付けたいこと)		
0	O効果的な	ミストレッチ方法					
1 0	O筋カトレ O姿勢作り O発声のt	はストレッチ方法 ーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレー は終み・腹式呼吸と胸式呼吸の違い レーニング Dで自覚・自覚・別級カチェックーンなら	ーニング	2種・扇周り・首周り・表	情筋)		
ò			の授業に	こて行うことを伝える			
	歌詞は・音源は)一曲得意な曲を返避 うスのみ t見てもOK tできればカラオケ ※用意できなけた	ば歌入り	でも構わない			
	O出席(自:	分で名前を言わせる・一言トーク)→N	ichu-=	ング			
2	ロストレッラ O筋カトレ Oブレストし Oリップロ-	分で名前を言わせる・一言トーク)→N F ーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレ レーニング ール	ーニング	2種・肩周り・首周り・表	情筋)		
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
-	OH RECO	⇔で名前を言わせる・一言トーク)→M		ング			
	Oストレッラ O筋カトレ Oブレストし Oリップロ・	チ ーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレ レーニング 復習			情筋)		
0	ンッップロー 〇発声のfi 〇共鳴紋	ール 土組み・共鳴腔説明(咽頭腔・胸腔:「I ハミングロングトーン ハミング音階発声 5発声へ ハミングロングトーン	8」、口腔	:「あ」、鼻腔:「んが」)			
0	〇出席(自:	分で名前を言わせる・一言トーク)→N	ichu-=	29			
. 0	リ筋カトレ の共鳴腔 の共鳴腔	分で名前を言わせる・一言トーク)ーM チ ーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレ ハミング(自治を)ーン ハミング(音階条声 発声へ ハミングロングトーン	ーニング	2種・扇周り・首周り・表	(# 8b)		
0	シロングト 〇日ングト 〇音階「5	ら発声へ ハミンクロングトーン ーン ま」 ら発音へ 「まめみもむもまめみ」→「i					
					は行」・「んが行」応用		
0	O出席(自: Oストレッラ O筋カトレ	分で名前を言わせる・一言トーク)→N F ーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレ ハミング言階発声 ハミングコングトーン	ICトレーニ ーニング	ング 2種・肩周り・首周り・表	情筋)		
000	J共明校 O共鳴から Oロングト O含数「=	ハモング音階発声 発声へ ハモングロングトーン -ン ま] 発音へ「まめみもむもまめみ」→「i					
	0発揮から 05度常程	発音へ「まめみもむもまめみ」→「i	6ffj•[ia	:行」・「な行」・「き行」・「	ば行」・「んが行」応用		
0	Jオクター ○細かい自 ○横隔膜ト	ブ音程 手様上昇・下降) レーニング(ドッグブレス) トレーニン・	グの必要	性を説明→できればスタ	Byカートまで		
9	の出席(自)	分で名前を言わせる・一言トーク)ーM F ーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレ ハミング言語発声 ーニン	ichu-=	ング			
0	O筋カトレ O共鳴腔 Oロングト	- ーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレ ハモング含階発声 ーン	ーニング	2種・肩周り・首周り・表	情筋)		
000	〇音階 「3 〇5度音程 〇横隔膜ト	東」 レーニング(ドッグブレス) −ト					
0	Oファルセ O課題曲多	ット 声帯の影響や声の種類の説明 き表 テーマ:ファルセット 1コーラス(山直太明)・「サクラ色/アンジェラアキ 覚えてくる	「ほ」です のみ、覚さ	it鉄 (る→歌ってみる(金員で	p		
0	〇出席(自:	分で名前を言わせる・一言トーク)ーM チ ーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレ ハミング言階発声 ーン	ICHU-=	ング	28.00%		
000	の共鳴腔 のロングト の音階	ーン ハミング音階発声 ーニング、エリ技術・目標・特針ドレ		2位:州州り:日州り:坂:	19(85)		
	の言語 のスタッカー のファルセ		A5-1	na u i Polina			
0	○次回課表 →倉源8	テーマ:ファルセット 1コーラスのみ 亜曲発表 テーマ:自分で返由するフ &歌詞カード2枚許参・キー変更OK !	アルセット	カ 曲 のみ			
0	〇出席(自:	分で名前を言わせる・一言トーク)→N F	ichu-=	ング			
000	D筋カトレ O共鳴腔 Oロングト・ O食物	分で名前を言わせる・一言トーク)ーM F ーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレ ハミング含階発声 ーン ート ット	ーニンク	2種・扇南り・百南り・表	情務)		
0	Oスタッカー Oファルセ	ート ット					
	の前期課題 製声練 課題由	習(音楽)に合わせて ロングトーン・音 自分で選曲するファルセット曲 フル	階・スタ:	カート →音源配布			
-	〇出席(自:	分で名前を言わせる・一言トーク)→M F	ichu-=	ング			
0	の筋カトレ の共鳴腔 のロングト	分で名前を言わせる・一言トーク)ーM チ ーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレ ルと)グ音節発声 一ン(音源)	ーニング	2種・肩周り・首周り・表	情筋)		
000	〇合階(音) 〇スタッカ・ 〇ファルセ	(P) ート(音類) ット					
0	O課題曲	1人1人に課題曲 Full cho					
0	〇段集への Oストレッラ O筋カトレ	の心構え(挨拶に重要性・授業の進め) - ニング(酸筋・背筋) - ニング レーニング	方・授業へ	~の姿勢)			
0	リ体幹トレ ロブレストし ロリップロー ロ参車端章	ーニング レーニング ール R(ハミング・ロングトー・・・ 辛等・/ 辛辛	1報・フマ・	レセット・スキッナート			
è	O別用級自	テーマ:裏声の種類(ファルセットとへ					
9	○授業への ○ストレッテ	D心構え(挨拶に重要性・授業の進め) チ ーニング(教筋・背筋) ール ポパンド・ロングトーン・倉僚・5度者	方・授業・	~の姿勢)			
	ロリップロー の発声検管 の課題曲	ーニング(政助・背助) ール 別(ハミング・ロングトーン・音階・5夜音 テーマ:裏声の種類(ファルセットとへ	程・ファル ッドボイス	レセット・スタッカート))			
	Oストレッラ O筋カトレ Oリップロ	D心構え(挨拶に重要性・授業の進め) チーニング(腹筋・背筋) ール がいアング・ロングトーン・食像・5度者					
0	J 無再練習 D課題曲	ール 引いミング・ロングトーン・含常・5度省 テーマ:裏声の種類(ファルセットとへ	セ・ファルッドボイス	レゼット・スタッカート))			
9	○授業への ○ストレッテ	D心構え(接拶に重要性・授業の進め) デ ーニング(難辞・母年)	方・授業・	~の姿勢)			
000	ンのカトレ 〇リップロー 〇男声練習 〇課題曲	0心構え(挨拶に重要性・授業の進め) F ーニング(徴筋・背筋) ール S(ハミング・ロングトーン・音階・5度音 テーマ : 念な高音への対応	程・ファル	レセット・スタッカート)			
+							
	O授業への Oストレッテ O筋カトレ	D心構え(挨拶に重要性・授業の進め) F ーニング(酸筋・背筋) ール 同ルミング・ロングトーン・音階・5度者 テーマ:急な高音への対応	方・授業・	への姿勢)			
000	ングップロー の発声練習 の課題曲	E(バミング・ロングトーン・音階・5度音 テーマ: 急な高音への対応	程・ファル	レセット・スタッカート)			
-	○授業への	の心構え(挨拶に重要性・授業の進め チ	方・授業へ	~の姿勢)			
5 0	Dストレッテ O筋カトレ O角声練習	F ーニング(腹筋・背筋) fl(ハミング・ロングトーン・音階・スタッ テーマ: ハーモニー	カート)				
+	○課題曲 テーマ:ハーモニー						
	〇ストレッテ 〇発声雑智いモング・ロングトーン) 〇映英辞性曲発表 適曲理由、課題点など交えて一人ずつに						
4							
, (〇後期評価曲 1コーラスのみチェック						
+							
	D後期評価	自曲 フルコーラスチェック					
+							
9 (O後期評価	自曲 テスト					
		講師制作テキスト課題曲の実施・倉源・歌詞カード					
教科	44	・課題曲の楽譜・昔線・収回カード 課題の成果40%、授業態度および ²	******	50%, 92 kins			
成績	評価	成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(を	J), D(町).	E(不可)の6段階で評価			
経験	教員の経 E	ヴォーカルインストラクター・イベント	シンガー	・チャベルシンガーとして	C10年音楽業界に従事		
_							

	SHOW	! 国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス ヴォイストレーニング 実務収集の有価	0
15	NIRST	現代	_
Ħ	象学年 象学科	ヴォーカル科 対象コース 全コース	400
		第四 の取場に関する影響の機能と、高度としての土合作がを建して、声に対しての興味と既かを深くする。まなら行っている格学センルのが創設と興味を深て、自身のブリナル産業等制作へのアイティアやヒントとき令数を上げていて、また、毎々な実現をお変して、必要なスキルの機能を行う。 ストレッチやありたレーニングを選出した状況・自事経験を選出して、必要の本格・の本権は、パニーニーニーニーニー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	たけい
8	皇祖夏	展声の関連、数する1980 の展覧と、設定としての土命のが高して、用に対しての商品と関心を設て行っている。 ながら行っているのが一点が表して、自身のプリケルを創発する。 力を放し上げていて、また。様々は関連を設定して、必要なスキルの機能が行った。 といったが成りたかっ一つが変したがあり、身が間が変したが、の場所が、一方がデラニック向 また。下の管理やできたが、自身の関連を対しては関連の関連と、自身の音のからできた。 また、下の管理やできたそれの関連に合かせて課題曲の関連とは、自分音音の声と向き合うと とい、様々な響というかの管理とに関係を持てきる。	sÆ,
		授業計画	
回数		投業デーマ・投業内容・特記事項など	
	〇出席(自己 〇講師紹介 〇授章への	已紹介させる一名前・高校名・好きなアーティストやジャンル・目標・授業で身に付けたいごと) (名前・高校名・お仕事についてなど) 20 様名(終析)に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ルーニングの受験	
1	099119	THE RESIDENCE OF THE PARTY OF T	
	- 自分の - 1コーラ	ので声見・声見・昵唱カナェックーズ回の投業にて行うことを伝える)一番得思な曲を遊曲 うるのみ	
	・取詞は ・音源は	見見でもOK にできればカラオケ ※用意できなければ歌入りでも構わない	
	〇出席(自分	分で名削を言わせる・一書トーク)一MCトレーニング 「	
2	〇気トレック 〇気カトレー 〇ブレストL 〇リップロー	分で名称を言わせる・一宮トーケーMOCトレーニング ーニング(足上げ復居・背筋・体幹トレーニング2種・肩周リ・音周リ・表情筋) ーニング ル	
		ので声質・声望・歌唱カチェック 1人ずつ・1コーラスのみ それの声質や課題点などアドバイス	
	0.00	ひべを飲むをもなる。」 ラン・ハール・レー・・バ	
	〇ストレッチ 〇筋力とレ 〇種開膜ト	(本名前を含わせる・・高トーカー地のレーニング ーニンが連絡性、日本・日本トーニング担害 電配 ・コング (本格に、日本・日本・イス (本格・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・	
3	〇共鳴腔を 〇ハミング! 〇ロング!	感じながら音磁発声 8.0エンゲトーン ーン(高音: 鼻腔・中音: 口腔・秘音: 咽頭腔4胸腔)	
	〇音第(マド 〇音第(支充	(C-(4) アンサラリ (B-(R)) (C-(4) アンサラリ (B-(R))	
	〇課題曲「、 ポイント説句	Japinez, テーマ:音域の広い物 1コーラスのみ 明 HW:曲を覚えてくる、自分のキーに合ったオケ音源を持参する	
	or-		
	○出席(自分 ○ストレッチ ○筋力とレ ○首・章・=	が、毛術を表わせる・・第一・ケーMobil・ニング ・ニング選集院・背影・情勢レーニング性・覆蓋的 機関队・ が成立のシアージー開闢 がとかが、加速時間 ・ がよります。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
4	〇リップロー 〇ハミング! 〇裏声(ファ	- A(ロングトーン・音楽) 8ロングトーン - A セット/ドホホホホー」	
	O祭題曲「	地声移行 Jupkerj 1人ずつ歌唱 1コーラスのみ	
	〇出席(自分 〇ストレッチ 〇筋カトリー	分で名前を言わせる・一書トーク)→MCトレーニング 6 ーニング(足上げ旋筋・背筋・体幹トレーニング3種・肩周り・首周り・表情筋)	
	〇共鳴腔 〇共鳴から 〇ロングトー	ーングルよけ変形・背折・体幹トレーニング2種・肩周り・音周り・表情筋) ルシング電影像 - ルシング2様・ 角声 - ハシグロングトーシー - 1 1 個本 (まめみもむもまめみ」・「ら行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「は行」・「んが行」応用	
5	〇音階「対 〇発声から 〇5度音型	~ 「まめみもむもまめみ」→「6行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「は行」・「は行」・「人が行」応用	
	〇オウター: 〇細かい音 〇課題曲男	7章器 税上第一7章 税上第一7章 政務部プード政務等・4一変更改(コーラスのみ	
	878	mexinumera保持参・中一変更OK 1コーラスのみ	
	Oweres	ひべを数をきかがる	
	〇筋カトレー 〇共鳴腔 〇共鳴から	ーニングミュド音楽 ・将本 体幹シレーニング2種 ・用南リ・岩南県リ・岩南県 「大田県県 「大田・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース	
6	〇ロングトー 〇音階「ま 〇発声から	ーン と) 発音へ 「まめみもむもまめみ」ー「ら行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「は行」・「んが行」応用	
	〇5度音程 〇オクター: 〇細かい ^章	ブ音程 様に昇・下院) デーマ・自介で選曲する音域の広い曲 :人ずつ取唱 地震部分・72技計争・7一変更のに 12一5スのみ	
	〇課題曲 一音源:	テーマ:自分で選曲する音域の広い曲:1人ずつ歌唱 処数詞カード2枚持多・キー変更OK:1コーラスのみ	
	〇出席(自分 〇ストレッチ 〇筋カトレー	けて名前を含わせる・一黒ーケールはルーニング ・ニングミンドが最三階(情報トレーニングは・電車リ・書機制) ルビング電磁解 ・パニングロンケーン 15 横m (まのみんかくまのみ)・「与日」「は日」「な日」「は日」「は日」「は日」「んが日」の周 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
7	〇共鳴腔 〇共鳴から 〇ロングトー 〇音節「4	ハミノン 音略表示 分異字へ ハミングロングトーン 一ン 長」	
	〇角声から 〇スタッカー	発音へ「まめみもむまめみ」〜「6行」・「は行」・「な行」・「な行」・「は行」・「なが行」応用 - ト	
	O課題曲 ポイント	テーマ・テンボの速い歯「シュガーソングとピターステップ」 コーラスのみ 覚える 誘明 HBI 歯を覚えてくる、自分のキーに合ったオケ音響を持参する	
	Ohare.	ので必要を書かせる。一番トーケーM/hl.──*・バ	
	○広城(村ケ 〇ストレッチ 〇筋カトレ 〇共鳴腔	がであるを表わせも一番トーガー地のトレーニング ニージアニンパロストリカニ・カーガー・カーカー ルングリカロステー ボタス・ハン・ブロンヴァーン は、「まかんかむかまから」「も行っては行ってお行ってお行っては行ってんが行った用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
8	〇共鳴から 〇ロングトー 〇音階「ま	条字へ パミングロングトーン 5) 条音 (まめみもむもまめみ」ー「ら行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「は行」・「人が行」応用 ト	
	〇スタッカー 〇課題曲		
	→音源4 ○前期評価 →音源4年	テーマ・自分で返廊するテンボの連い値 診関が一片放抖等・キー変更OK 1コーラスのみ 1人ずつ歌唱 歯磨発表 デーマ・自分が再子な面 歌関が一片な検持参・キー変更OK フルコーラス	
	〇出席(自分 〇ストレッチ 〇筋カトレー	分で名前を言わせる・一書トーク)ーMCトレーニング - ニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋)	
9	〇共鳴腔 〇共鳴から 〇ロングトー	ーニングは上げ放め、河南・海水やレーニング210・河南ツ・南南州 ルング南海が ルングロングトーン ドバングロングトーン 海南~「まめみもむもまめみ」「ら行」「は行」「な行」「さ行」「は行」「な行」「は行」「んが行」応用 ー	
	〇角声から 〇スタッカー	発音へ「まめみもむもまめみ」ー「ら行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「は行」・「は行」・「人が行」応用 ト	
	〇課題曲	1人1人に課題曲 Full cho	
	〇枝業への 〇ストレッチ 〇年十二	0 6様名(核拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) 再度動機付け 	
10	Oが対トレー OプレストL O発声経常	26様名(後打・重要性・授業の進のか・授業への姿勢) 再度影響付け ーニング機能・理能 ーニング機能・理能 ーニングは、一定 ーニング 「ポース・ファース・ファース・ファース・ファース・ファース・ファース・ファース・ファ	
11	Oストレッチ O筋カトレー O体幹トレー	- ニング度数・背筋・ ニング レーニング レーニング ボバミング・バミングロングトーン・ロングトーン・5度音程・オクターブ・スタッカート) デーマ・天然の身管・洋楽のグルーブ感	
	〇プレストL 〇発声様官 〇課題曲	レーニング 8/v3とグ・ハミングロングトーン・ロングトーン・5度音響・オクターブ・スタッカート) テーマ:英語の発音・洋楽のグループ感	
12	〇筋カトレー 〇体幹トレー 〇プレストL	ーニング(政務・背積) ーニング レーニング	
	〇角声級官 〇課題曲	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	Oストレッチ O筋カト!	F ーニング(販長・背易)	
13	〇体幹トレー 〇プレストL 〇角声練習	- 	
	O課題曲 O課題曲	ナーヾ:夫部の声音:汗珠のクルーフ巻 Sir Doke] コーラスのみ Keyを変えて一人ずつ テーマ:念な高音への対応	
_	○授業への ○ストレッチ	の心様名(核抄に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) 再度勤機付け	Ī
14	〇筋カトレー 〇体幹トレー 〇プレストL	- ニング(販売・背長) - ニング(- ニング	
	〇発声様官 〇課題曲 〇課題曲	OG最近に開発に重要性、健康の進め方・授奉への姿勢、再度取機付け	
15	〇ストレッチ 〇プレストL 〇角声練習	○6.構文(核野に重要性・投票の進の方・投票への姿勢)、再度動機付け グ 切いとング・ハミングロンゲトーン・ロンゲトーン・投票管理・オフターブ・スタッカート) テーマーモ・毎日や生きの扱いかたにおける表現力	
	〇ストレッチ 〇筋カトレ・ 〇プレスト!	F ーニング(政防・背防) ーニング	
16	〇リップロー 〇角声練習 〇後期評価	シーニンツー アンドロングトロングトーン) 自角発表 選曲理由、課題点など交えて一人ずつに	
17		製造 1コーラスのみチェック	
17		新聞 (ユーラスのウナエツ) 新聞 フルコーラスチェック	
19	〇後期評価		
		- 順師制作テキスト - 課題曲の楽譜 音源・歌詞カード	
8	科書等		
AS.	検許価	課題の成果40%、授業態度および学習意欲50%、テスト10% 成績評価は5(秀)、A(優)、B(泉)、C(可)、D(可)、E(不可)の8段階で評価する。	_

実務経験教員の経 歴

科目名	コーラスワーク			実務授業の有無	0	
担当講師	中野 和音/大野 知世	<u>.</u>	講義実施時期 前期·後期 必修·選択 必修		1	
担当碘即	一 中野 和自/人野 和巴 	-				
対象学年	1・2 年		総授業時間	38	時間	
対象学科			対象コース	全コース		

ヴォーカリストとして大切な「相対音感」を身につけるためのトレーニングを行う。 全員での合唱・アカペラ曲の歌唱、少人数でグループにわかれてのコーラスのある曲の歌唱を通し、相手 の音を聞く、相手の音に合わせることを通し、1つの音楽を大人数で作り上げることや、人の音に合わせて 自分の声を出す意識を高める。

	授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など					
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 発声練習					
2	発声練習 合唱曲① パート別音取り・パート練習					
3	発声練習 合唱曲① パート練習・合唱					
4	発声練習 合唱曲① パート練習・合唱					
5	発声練習 合唱曲② パート別音取り・パート練習					
6	発声練習 合唱曲② パート練習・合唱					
7	発声練習 合唱曲② パート練習・合唱					
8	発声練習 合唱曲③ パート別音取り・パート練習					
9	発声練習 合唱曲③ パート練習・合唱					
10	後期イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 発声練習					
11	グループコーラス曲① グループ別練習					
12	グループコーラス曲① グループ別練習					
13	グループコーラス曲① グループ別練習					
14	グループコーラス曲① 発表					
15	グループコーラス曲② グループ別練習					
16	グループコーラス曲② グループ別練習					
17	グループコーラス曲② 発表					
18	合唱曲④ パート練習					
19	合唱曲④ 合唱					

教科書等	各課題曲楽譜·音源を配布 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲50%、音程の正確さなど技術全般50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経 歴	【大野】小学5年(2002年)から、りゅーとぴあ演劇スタジオキッズ・コース「APRICOT」に所属。 その後、高校1年(2008年)からは、りゅーとぴあ能楽堂シリーズに出演。 18歳(2011年)にはNew YorkのBroadway Dance Centerに1年間留学をする。 その後、「Harvest」という劇団を立ち上げ2作品上演。

科目名	ライブパフォーマンス実践 Ι			実務授業の有無	0
担当講師	えのもとくみこ		講義実施時期	前期•後其	Į.
担当研削	えのもと くみこ		必修•選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	30	時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース	

ライブやイベント出演の際に必要な基礎知識(サウンドチェック、パフォーマンス準備)や技術(演奏力、魅せ方)などを学び、自身のパフォーマンスカ向上を図る。 それぞれのパフォーマンスに対してのフィードバックを行い、意見交換をし合う。 授業概要 実際に自主企画ライブを開催することを想定し、企画の組み立て方、スタッフとのやり取り、運営の 仕方なども併せて学ぶ。

	授業計画
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(自己紹介・前期の授業概要説明・ライブ映像鑑賞・ライブハウスの環境を知る)
2	実際にステージに立ち、リハーサルから本番の流れを体感・発表会の曲決め(アップテンボ・バラード系に分ける)
3	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
4	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
5	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
6	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
7	発表会のゲネリハーサル・フィードバック(企画・構成最終確認、サウンドチェック、仕上がりチェック)
8	発表会
9	イントロダクション(後期の授業概要説明)・曲決め(アップテンポ・バラード系に分ける。前期と反対の選択をする)
10	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
11	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
12	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
13	発表会のゲネリハーサル・フィードバック(企画・構成最終確認、サウンドチェック、仕上がりチェック)
14	発表会
15	ライブ練習

教科書等	なし 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ヴォイストレーナー・歌唱指導歴15年。NegiccoやNGT48など数々のアイドルグループやアーティストを指導、ジャズヴォーカリストの傍らマンダムズでピータンくみことして、ラジオやテレビのメディア出演など幅広く活動する。これまで個人で2枚のアルバム、マンダムズで5枚のアルバムを発表。一流ホテルのディナーショー・大ホールから地元のお祭りまで多数のステージを経験する。

科目名	ライブパフォーマンス実践 Ⅱ			実務授業の有無	0
担当講師	フカレーン・右羊		講義実施時期	前期•後期	月
担当碘即	マクレーン有美		必修·選択	必修	
対象学年	1 年		総授業時間	34	時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース	

ライブやイベント出演の際に必要な基礎知識(サウンドチェック、パフォーマンス準備)や技術(演奏力、魅せ方)などを学び、自身のパフォーマンスカ向上を図る。 それぞれのパフォーマンスに対してのフィードバックを行い、意見交換をし合う。 授業概要 実際に自主企画ライブを開催することを想定し、企画の組み立て方、スタッフとのやり取り、運営の仕方なども併せて学ぶ。

	授業計画
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(自己紹介・前期の授業概要説明・ライブ映像鑑賞・ライブハウスの環境を知る)
2	実際にステージに立ち、リハーサルから本番の流れを体感
3	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
4	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
5	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
6	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
7	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
8	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
9	発表会
10	イントロダクション(後期の授業概要説明・イベントの組み立て方のレクチャー)
11	グループに分かれ、どんなステージにするかを相談(グループワーク)
12	実際にステージを見たりスタッフとやり取りをしながら構成をつくる。
13	ライブ練習
14	ライブ練習
15	ライブ練習
12	ライブ練習
13	ライブのリハーサルを行う(企画・構成最終確認、サウンドチェック、仕上がりチェック)
14	ライブ練習
15	それぞれのグループの企画ライブを行う

教科書等	なし 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ヴォイストレーナー歴21年 多くアーティスト、アイドルを指導、ライブパフォーマンス、レコーディングデイレクション行う ニューヨーク、ロサンゼルス、日本にてヴォイストレーングを受講 自らもアーティスト活動でメジャーデビュー、それに伴うプロモーション活動全般を経験

科目名	ソルフェージュ			実務授業の有無	0
担当講師	野瀬珠美		講義実施時期	前期•後其	A .
担当講師			必修·選択	必修	
対象学年	1 年		総授業時間	17	時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース	

譜面に記してある様々な要素(旋律、リズム、ハーモニー等)を正確に読み取り、正確に表現する。 授業概要

_	授業計画
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	2拍子及び4拍子、四分音符と二分音符、順次進行による旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符を含むリズム打ちも並行してして練習する。
2	3拍子、四分音符と二分音符さらにそれらに対応する休符、順次進行による旋律を正確に歌えるようにする。 また八分音符を含むリズム打ちの練習をする。
3	三度音程を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符までの音価と四分休符を含むリズム打ちの練習も行う。
4	三度音程を含むさらに複雑な旋律を正確に歌えるようにする。また四分音符、順次進行の調音(書き取り)をする。
5	付点二分音符を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符までの音価と八分休符を含むリズム打ちを練習する。
6	タイを含む旋律を正確に歌えるようにする。また四分音符、八分音符、順次進行による 調音を行う。
7	四度音程を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符と八分休符を含むさらに複雑なリズム打ちを 練習するする。
8	四度音程を含む音程をもっと正確に歌えるようにする。またシンコペーションなどを含むリズム打ちの練習を する。
9	これまでに学んだコーリュブンゲンの実技テスト。またリズム打ち、調音のテストを行う。
10	2度3度音程を含む旋律を歌えるようにする
11	付点四分音符とタイを含んだ旋律を歌えるようにする。また同レベルのリズム打ちをする。
12	4度音程を含む旋律を歌えるようにする。
13	付点四分音符とタイを含んだ旋律を歌えるようにする。また同レベルのリズム打ちをする。
14	5度音程を含む旋律を歌えるようにする。
15	ト長調、ヘ長調とその平行調(ホ短調、二短調)の旋律を歌う練習。
16	ト長調、ヘ長調とその平行調(木短調、二短調)の旋律で臨時記号を伴った旋律を歌う練習。
17	9週までに学んだコーリュブンゲン、その他の曲を歌う実技テスト。またリズム打ちのテストも行う。

教科書等	コーリュブンゲン・リズムの基礎・視唱ステップアップ 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	2010年より国際音楽エンタテイメント専門学校、2005年より新潟県立新潟中央高等学校非常勤講師(ソルフェージュ・音楽理論)

科目名	ヴォーカル実技 [実務授業の有無	0
担当講師	ナタリー石田		講義実施時期	前期・後其	A
担当講師	アダリー石田		必修·選択	必修	
対象学年	1 年		総授業時間	17	時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース	

ヴォーカリスト入門として、初めて歌に向き合う上での必要なスキルや技術的な部分はもちろん、そのうえで人前で歌う「心構え」や、独りよがりではなく聴く人の気持ちを優先した選曲やパフォー 授業概要 マンス。さらに自分では 気づけない"自分の持つ声の魅力および欠点"を講師の立場からアドバイスできたら、と思います。

	授業計画
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【自己紹介】それぞれに自己紹介してもらい、その際に自分が影響を受けた曲やアーティスト、ジャンルなどをもう一度自分で確認し、最後に今後の方向性や目指すべきものを導き出す。 その後、ヴォーカリストとしての基本的な心構えなどを論じていきます。
2	【自己分析】自分の声質や声量、キャラクターなどを分析する。 自分が影響を受けたヴォーカリストの曲を一曲用意してもらい、そのヴォーカリストのどこに影響を受けたのか、また、自分がどのようなヴォーカリストを目指すべきなのかを導き出していく。主に座学。
3	【歌の披露】現時点で自分が1番自信のある楽曲を披露してもらう。そのうえで、なぜその曲なのか、なぜその曲に魅力を感じるのか?その曲が伝えたいことは?など、「ただ好きで歌っていた」だけではなく、歌の意味、そして「歌う意味」を考える。
4	【テーマ:世界の様々な音楽を知る】 若い学生が聴いたことのない様々なジャンルの音楽を聞いてもらう。それを聴いてどう感じたかを全員でクロストークし、【歌の世界】をより深く感じてもらう。
5	【テーマ:アップテンポの曲】それぞれの長所・短所を自分で見極める為の、まずは「アップテンポの曲」を歌唱してもらう。楽曲のセレクトはそれぞれで選曲。
6	【テーマ: バラード曲】それぞれの長所・短所を自分で見極める為の、次は「バラード曲」を歌唱してもらう。楽曲のセレクトはそれぞれで選曲。
7	【テーマ:自分に本当に合う楽曲1】ここまでやってきて、好き嫌いを別にしてそれぞれに自分の声質、特徴などを考え、自分に合う曲を一曲披露してもらう。それを前期の最終課題曲とするので、今回歌唱後に講師よりアドバイスを出し、次回弱点を直した上でもう一度披露してもらう。
8	【テーマ:自分に本当に合う楽曲2】前週にやった曲を修正・補正して披露してもらう。それを前期の最終課題曲とするので、今回歌唱後に講師よりアドバイスを出し、次回弱点を直した上でもう最終披露してもらう。
9	【前期最終課題】前回披露して、修正を加えた「自分に合う曲」を完全な形で一曲披露してもらう。 歌詞は見ない・ステージングも意識して、あくまでお客様の眼の前で歌ってる事を考え、プロへの第一歩とし ての歌を全力で。
10	【休み中のエピソード〜歌唱】この休暇中に音楽に対する想いの変化や、スキルアップのためになにかやってきたか、などを確認する。その後歌の披露で【どう進化したか、或いは退化したか】を評価する。
11	【テーマ:真逆の曲】自分のキャラや正確、声質などをそろそろ理解しているこの時期に、敢えて全く真逆の曲を披露して下さい。新しい発見や、レパートリーが増える可能性があります。
12	【テーマ:洋楽】現代の若い子は洋楽曲に触れる機会が少ないと思われます。そこで洋楽のデュエット曲に挑戦。ハーモニーの大切さ、他の音を聴く重要性。そして、英語曲ならではの発声や発音などにも言及します。
13	[テーマ:洋楽2]前回初めて聴いたであろう洋楽曲を練習してきてもらい、練習の成果を披露。ハーモニーの大切さ、他の音を聴く重要性。そして、英語曲ならではの発声や発音などにも言及します。次回の授業で完成形を披露。
14	【テーマ:洋楽3】課題洋楽曲の完成形を披露。フェイクやシャウトの付け方などもレクチャーしつつ、より本物に近いカタチで歌えるコツを伝授。
15	[テーマ:幅広い年代層に向けて]不特定多数のお客さんが集まる街なかのフリーライブ出演と仮定して選曲して下さい。独りよがりの選曲でなく、幅広い年代層の人が笑顔になったり涙するような選曲を。この日に最終課題曲配布。
16	[テーマ:90〜80年代の曲]90〜80年代といってもすでに学生にとってはまだ生まれてもいない年代。この時代の曲を選曲し、歌唱してもらいます。
17	【テーマ:ハモリ】男女、男男、女女、ペアを組んでデュオ曲を披露。ハモリバートを分担し、美しいハーモニーを紡ぎ出してください。この日に最終課題曲を渡します。
18	【テーマ:課題曲の進展状況を確認】最終課題曲を現時点でどこまで歌えるか練習として披露。歌いこなせて いない部分などを細かくチェックします。
18	【評価課題曲】二週前に渡しておいた課題曲を披露してもらいます。歌い込み、完成度を評価します。

教科書等	特になし。授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業での歌唱評価、及び上達度80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	マンダムズのボーカリストとして19年、また、ジャズ、ボップスシンガーとして活動。チャベルソリストとして18年、他、数々のステージで活動中。 県内のCMソング歌唱やテレビ・ラジオなどでナレーターとしても活躍。

	*			•	
科目名	ヴォーカル実技Ⅱ			実務授業の有無	0
担当講師	講師 CHiCO		講義実施時期	前期	
担当時即			必修•選択	必修	
対象学年	2 年		総授業時間	57	時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース	

ヴォーカリストに必要な技術、セルフプロモーションの方法等、ヴォーカリストとしてのスキル全般を 授業概要 学びます

	授業計画
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項などロ
1	現在の目標とそれに向けての活動等ヒアリング・個々の実力チェック
2	キー確認、発声、リズムトレーニング
3	課題曲決め、実技チェック
4	個別トレーニング
5	個別トレーニング
6	アーティストイメージを持ってパフォーマンス、見せ方練習
7	アーティストイメージを持ってパフォーマンス、見せ方練習
8	ライブパフォーマンス審査に向けてのリハーサル
9	ライブパフォーマンス審査
10	現在の目標とそれに向けての活動等ヒアリング・個々の実力チェック
11	キー確認、発声、リズムトレーニング
12	課題曲決め、実技チェック
13	個別トレーニング
14	個別トレーニング
15	アーティストイメージを持ってパフォーマンス、見せ方練習
16	アーティストイメージを持ってパフォーマンス、見せ方練習
17	アーティストイメージを持ってパフォーマンス、見せ方練習
18	ライブパフォーマンス審査に向けてのリハーサルロ
19	ライブパフォーマンス審査

教科書等	なし 授業形態/遠隔授業のみ実施
成績評価	ヴォーカル実技60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ユニバーサルよりメジャーデビュー。多くのメジャーアーティストのトレーニングも行い、ゲーム音楽 を始め音楽制作にも携わる。

科目名	作曲実習 I			実務授業の有無	0
担当講師	講師 中野 和音		講義実施時期	前期•後期	Ą
担当研削			必修·選択	必修	
対象学年	1 年		総授業時間	34	時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース	

ヴォーカリストは歌を歌うだけでなく楽曲制作のノウハウも知っていなければいけない。 また自分を売り出すためにはオリジナル曲があることが不可欠な時代となっている。 授業概要 ステージ発表、オーディションに向けて、自身で作詞作曲したオリジナル楽曲を作成するため、スコアの知識、コードに対するメロディ付けを学ぶ。

	授業計画
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 前期授業概要説明、各自自作曲紹介、曲作りとは
2	調と音階、ダイアトニックコードに対するメロディづけ
3	長調のコードに対してのメロディ・歌詞づけ
4	長調のコードに対してのメロディ・歌詞づけ・発表
5	短調のコードに対してのメロディ・歌詞づけ
6	短調のコードに対してのメロディ・歌詞づけ・発表
7	期末作品制作
8	期末作品制作
9	期末作品制作・発表
10	後期授業概要説明
11	さまざまなコード進行・楽曲分析
12	さまざまなコード進行・楽曲分析・好きなコード進行を選びメロディづけ
13	楽曲制作①
14	楽曲制作②
15	楽曲制作③
16	楽曲制作④
17	楽曲制作⑤· 発表

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度50%、課題制作30%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ピアノ&ヴォーカルユニット「Cacis」のピアニスト・作曲家として新潟県を中心に15年活動中。

科目名	ダンス基礎			実務授業の有無	0
担当講師 儀間 鴻太		講義実施時期	前期・後其	Я	
担当課則			必修•選択	必修	
対象学年	2 年		総授業時間	30	時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース	

授業概要 ダンスを通して、曲の表現の仕方、音の聞き方、リズム感を学び自分だけの表現方法を学ぶ。

	授業計画
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	リズムトレーニング(アップリズム・ダウンリズム・16ビート) 上記のトレーニングの応用
2	リズムトレーニング(アップリズム・ダウンリズム・16ビート) 上記のトレーニングの応用
3	リズムトレーニング(アップリズム・ダウンリズム・16ビート・前ノリ・後ノリ・横ノリ)
4	リズムトレーニング(アップリズム・ダウンリズム・16ビート・前ノリ・後ノリ・横ノリ)
5	リズムトレーニング(アップリズム・ダウンリズム・16ビート・前ノリ・後ノリ・横ノリ) 上記のトレーニングの応用
6	前期評価の課題:簡単な基礎を応用した振り落としを行う
7	前期評価の課題:簡単な基礎を応用した振り落としを行う
8	前期課題最終練習 振り付け発表(5人ずつ)
9	リズムトレーニング(アップリズム・ダウンリズム・16ビート・前ノリ・後ノリ・横ノリ)
10	リズムトレーニング(アップリズム・ダウンリズム・16ビート・前ノリ・後ノリ・横ノリ)
11	リズムトレーニング(アップリズム・ダウンリズム・16ビート・前ノリ・後ノリ・横ノリ) 中級者レベルの振り付け落とし
12	リズムトレーニング(アップリズム・ダウンリズム・16ビート・前ノリ・後ノリ・横ノリ) 中級者レベルの振り付け落とし
13	後期評価の課題:中級者レベルの振り落とし
14	後期評価の課題:中級者レベルの振り落とし
15	後期評価の課題最終練習 後期評価の課題発表

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	UNTIYダンス舞台 2回出演 UNITY ONLINE 舞台 出演 SUGA×SHOW動画プロジェクト(撮影、動画編集、振り付け) San Diego留学(三ヶ月) 2023世界大会VIBE DANCE COMPETITION Adult部門 優勝

科目名	Pro Tools実習			実務授業の有無	0
担当講師	九野 和辛			前期•後期	1
担当研训	中野 和自		必修•選択	必修	
対象学年	1 年		総授業時間	38	時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	38	

音楽制作ソフト Pro Toolsの使い方を学び、オリジナル曲の制作や「歌ってみた」などの録音ができるようになり、より簡単に自身の作品を発表できるように知識・技術を習得する。 授業概要

	授業計画
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業概要説明、Mac Book利用の仕方、Pro Toolsというソフトについて、Pro Toolsを使用してできること、Garage Bandとの違い。
2	ネットからの音源ダウンロード方法、データ形式(WAV、MP3、M4A)の違い、違法ダウンロード、音質の差などの説明。
3	楽曲インポート方法、テンポの合わせ方、楽曲編集(フルコーラスをワンコーラスに) 何曲か練習。アウフタクトのある曲なども。
4	楽曲インポート方法、テンポの合わせ方、楽曲編集(実際に自分が使いたい楽曲のカラオケを作る)
5	オーディオインターフェースの種類と使い方、ヴォーカルREC方法
6	ヴォーカルREC実践 マスタートラック、Auxトラックの作り方、リバーブの掛け方
7	ヴォーカルREC実践 マスタートラック、Auxトラックの作り方、リバーブの掛け方
8	ヴォーカルREC実践 マスタートラック、Auxトラックの作り方、リバーブの掛け方
9	前期まとめ、音源発表会 後期までの課題提示 (ここまでに1人1曲、自分の声を録音したデータを作成する。→ 後期で利用)
10	後期授業概要説明、前期課題確認、音源編集やVo RECの復習
11	前期にRECした楽曲を利用した、メロダインの設定方法、ピッチ修正
12	前期にRECした楽曲を利用した、簡易的なVo MIXの方法
13	MIDI入力の方法①
14	MIDI入力の方法② 既存のカラオケを使用したメロディ作り、歌詞制作 (何種類かカラオケを用意、学生に選ばせる)
15	MIDI入力の方法② 既存のカラオケを使用したメロディ作り、歌詞制作 (何種類かカラオケを用意、学生に選ばせる)
16	自分で作った楽曲をレコーディング、MIX(空いた部屋などを使い、グループで録音しあう)
17	自分で作った楽曲をレコーディング、MIX(空いた部屋などを使い、グループで録音しあう)
18	自分で作った楽曲をレコーディング、MIX(空いた部屋などを使い、グループで録音しあう)
19	後期まとめ、オリジナル曲発表

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	期末課題50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ピアノ&ヴォーカルユニット「Cacis」のピアニスト・作曲家として新潟県を中心に15年活動中。

科目名	音楽理論			実務授業の有無	Υ
17 0 10	日木任洲				
担当講師	i 浅間 千央		講義実施時期	前期•後其	1
担当時即			必修·選択	必修	
対象学年	1 年		総授業時間	19	時間
计多学科	音楽アーティスト科		対象コース	タコース	

音楽理論の基礎からコード理論・コードスケールの基本と相互関係を総合的に学びます。 授業概要 到達目標は、読譜、記譜ができるようになり、音楽理論を活用した作曲やアレンジができる様になる事。

	授業計画
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・音楽理論とは何か。
2	メジャースケールの理解。
3	音符・休符・リズムの理解(基本編)。
4	音符・休符・リズムの理解(リズムトレーニング編)。
5	音符・休符・リズムの理解(符点音符・リズムトレーニング編)。
6	音程(インターバル)の理解(完全音程・長音程・短音程編)。
7	音程(インターバル)の理解(増音程・減音程編)。
8	前期末テスト。
9	前期末テスト解説。
10	和音の理解(三和音編)
11	和音の理解(四和音編)
12	和音の理解(テンションコード編)
13	和音確認テスト・答え合わせ・解説
14	メジャーダイアトニックコードの理解(基本編)
15	メジャーダイアトニックコードの理解(コード進行編)
16	メジャーダイアトニックコードの理解(コード進行編)
17	メジャーダイアトニックコードの理解(コードスケール編)
18	後期末テスト
19	後期末テスト解説

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

科目名	ヴォーカルレコーディング			実務授業の有無	0
担当講師 マクレーン 有美		講義実施時期	前期•後其	Я	
		必修·選択	必修		
対象学年	2	年	総授業時間	38	時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース	

実際のレコーディングを通して、 コンデンサーマイクでのヴォーカリング、ヘッドフォン(イヤフォン)を使ってのモニタリングや 授業概要 授業概要 提供に慣れ、自分にとって歌いやすいセットアップ法を学ぶ 録音した歌に対しディレクションを行い、より洗練されたデモを仕上げていく 声の特性や表現の細部まで、新たな発見の場となる

 回数 授業テーマ・授業内容・特記事項など 1 イントロダクション、選曲のポイント説明、目的を明確にし、目標を立てる 2 レコーディング 3 レコーディング 4 レコーディング、学生がディレクション 5 レコーディング、学生がディレクション 6 レコーディング、学生がディレクション 	
2 レコーディング 3 レコーディング 4 レコーディング、学生がディレクション 5 レコーディング、学生がディレクション	
3 レコーディング 4 レコーディング、学生がディレクション 5 レコーディング、学生がディレクション	
4 レコーディング、学生がディレクション 5 レコーディング、学生がディレクション	
5 レコーディング、学生がディレクション	
6 レコーディング 学生がディレクション	
7 レコーディング、学生がディレクション	
8 レコーディング、学生がディレクション	
9 レコーディング、学生がディレクション	
10 レコーディング、学生がディレクション	
11 レコーディング、学生がディレクション	
12 レコーディング、学生がディレクション	
13 レコーディング、学生がディレクション	
14 レコーディング、学生がディレクション	
15 レコーディング、学生がディレクション	
16 レコーディング、学生がディレクション	
17 レコーディング、学生がディレクション	
18 レコーディング、学生がディレクション	
19 作品視聴会	

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲70%、デモ音源評価30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ヴォイストレーナー歴21年 多くアーティスト、アイドルを指導、ライブパフォーマンス、レコーディングデイレクション行う ニューヨーク、ロサンゼルス、日本にてヴォイストレーングを受講 自らもアーティスト活動でメジャーデビュー、それに伴うプロモーション活動全般を経験

科目名	作曲実習Ⅱ			実務授業の有無	0
42 建矿 克坯 仲松		講義実施時期	前期•後其	A	
担当碘则	担当講師 真柄 伸彬 -		必修•選択	選択必修	
対象学年	2 年		総授業時間	34	時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース		

授業概要 につい

ヴォーカル科の学生に向け、ポピュラー音楽の作曲技法を紹介し、それを元に各自課題曲の制作に取り組んでもらう。音楽理論・コード理論の基礎や、メロディーとハーモニー制作、伴奏アレンジについて取り扱う。シンガーソングライタースタイルの活動を確立できるようになることが到達目標である。また、課題曲の制作には業界標準ソフトウェアである『ProTools』を用いて行うため、その基本操作方法についても学んでもらう。

	授業計画
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明、ガイダンス作曲と音楽の3要素についてメロディーメイキング課題①-1
2	キーとスケール、音程、メジャー・コードとマイナー・コードメロディーメイキング課題①-2
3	ダイアトニック・コード①ベーシック・コードコード進行制作課題①-1
4	ダイアトニック・コード②その他のコードコード進行制作課題①-2
5	メロディーにおけるアヴェイラブル・テンションとアヴォイドメロディーメイキング課題②
6	ハーモニー制作法ハーモニー制作課題①(メロディーメイキング課題②のメロディーにハーモニーをつける)
7	セカンダリー・ドミナント・コードとその他の汎用コードコード進行制作課題②
8	楽曲の構成論ヒット曲の簡易楽曲分析(分析楽曲については学生に取り上げて欲しい曲をアンケートし適したものを数曲採用する)
9	伴奏アレンジとリズム伴奏アレンジによるコードサウンドのコントロールについて伴奏アレンジ制作課題①
10	DTM活用のガイダンス評価週作曲課題
11	ポピュラーアレンジ: バンドサウンド・アレンジメント/①ベース・アレンジ
12	①ベース・アレンジ実習
13	ポピュラーアレンジ: バンドサウンド・アレンジメント/②ドラムス・アレンジ
14	②ドラムス・アレンジ実習
15	ポピュラーアレンジ: バンドサウンド・アレンジメント/③-1エレクトリックギター・アレンジ
16	③-1エレクトリックギター・アレンジ実習
17	オリジナル楽曲制作③

教科書等	なし 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	制作課題70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	新潟市を拠点に作曲家として10年活動中。

t					
科目名	キーボード実習			実務授業の有無	0
担当講師 塩田 美月 -		講義実施時期	前期•後期	1	
		必修•選択	選択必修		
対象学年	2	年	総授業時間	34	時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース	

授業概要	ピアノ演奏の基礎となるトレーニングを実施。 楽譜の読み方、運指、リズム、奏法を学び、実践に繋げる。 ピアノソロでもアンサンブルでも活用できる技術を学ぶ。
------	--

	授業計画			
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など			
1	イントロダクション(動機付け) スキルチェック、ピアノ基礎トレーニング			
2	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 楽譜の読み方を学ぶ、簡単な課題曲提示			
3	ピアノ基礎トレーニング (ハノン) 課題曲の練習・チェック			
4	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習・チェック			
5	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲発表→フィードバック、コードの読み方について学ぶ			
6	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) コードの種類を学ぶ、課題曲提示			
7	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習・チェック			
8	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習、チェック			
9	ピアノ基礎トレーニングのテスト 課題曲発表→フィードバック 前期まとめ			
10	イントロダクション(動機付け、後期目標設定) ピアノ基礎トレーニング、自由課題曲選定(ピアノソロ)			
11	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック			
12	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック			
13	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック			
14	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲発表→フィードバック、自由課題曲選定(伴奏)			
15	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック			
16	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック			
17	ピアノ基礎トレーニングのテスト 自由課題曲発表→フィードバック 後期まとめ			

教科書等	なし 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	出席率20%、授業態度および学習意欲40%、課題テスト40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	幼少期〜現在までYAMAHAにてピアノ(クラシック)を習う。 国際音楽・ダンスエンタテイメント専門学校 ヴォーカル科ヴォーカル&楽器(キーボード)コース 卒業。 新潟で活動しているパンド「Chic Sick」にてキーボード&コーラスを担当。

科目名	作詞実習			実務授業の有無	0
担当講師	冨田 一輝		講義実施時期	前期·後期	月
担当碑即			必修·選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	19	時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース		

作詞に関し、DAWソフトを使用しつつ基礎的な技法を学ぶ。 ①既存曲から希望楽曲の選定②作詞③ブラッシュアップ④仮歌の録音 上記を基本的な流れとし、最終的にはタイアップ等を想定した作詞にも挑戦することで、作詞の技 術だけではなく、エンタテイメントに関し多角的な視点を持てるようになることを目標とする。

授業計画				
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など			
1	前期イントロダクション(動機付け等)			
2	CMソングについて 短い時間で印象に残すための技法について解説。			
3	CMソングについて 課題曲を実際に制作しつつ、DAWの操作方法を解説。			
4	個人課題① 作詞を行う課題曲を2曲選定。			
5	個人課題① テーマを決定次第制作開始。			
6	個人課題① 制作物のブラッシュアップ。			
7	個人課題② 2曲目の制作開始。			
8	個人課題② 制作物のブラッシュアップ。			
9	期末考査(制作物の発表)			
10	前期イントロダクション(動機付け等)			
11	CMソングについて 短い時間で印象に残すための技法について解説。			
12	CMソングについて 課題曲を実際に制作しつつ、DAWの操作方法を解説。			
13	個人課題① 作詞を行う課題曲を2曲選定。			
14	個人課題① テーマを決定次第制作開始。			
15	個人課題① 制作物のブラッシュアップ。			
16	個人課題② 2曲目の制作開始。			
17	個人課題② 制作物のブラッシュアップ。			
18	個人課題② 制作物のブラッシュアップ。			
19	期末考査(制作物の発表)			

教科書等	なし 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	音楽制作会社SUPA LOVE所属 アニメ「理系が恋をしたので証明してみた」OP主題歌 作編曲 アニメ「キラッとプリチャン JEDテーマ 作編曲、アニメ「SHOW BY ROCK!!ましゅまいれっしゅ!!」挿 入歌 作詞、作編曲 他、メジャーアーティストやアニメソングを中心に多数楽曲提供を行う。